

センター通信

2017年2月・3月〔第236号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

ブラッシュアップ研修会の報告

当センターでは、毎年、事業所職員の方々のお役に立つような研修会を企画、開催してきました。今年度は、デザイナーの吉清有三氏（千羽鶴未来プロジェクト理事・事務局長）をお願いして、2回目の「ブラッシュアップ研修会」を開催しました。今回は、「お客様に商品を手にとっていただけるようにするにはどうしたらよいか。」というテーマで、自主製品を事例として提出していただき、3回実施の研修会にしました。参加者の一人が言っていました、「事業所内では馴れ合いになり、言いたいことが言えないことがある…」と。参加者が提示した製品について、率直な感想・意見を言い合い、議論し、そこで得たものを持ち帰って自らの製品に反映されればよい、という発想で企画しました。



会場は育成会総合福祉センター、参加事業所は【ファニー】【おりづる作業所】【セルフヘルプ宝町】【Cross Road】、議論参加者から事例を提出することになった【りらくす】の5事業所7名でした。参加者は、ラッピング、ネーミングなどの課題に、吉清氏がこうした方が良いのではという助言を求めていたようですが、第1回（10/26）は、吉清氏の「ミッションは、利用者さんを職人にしよう。職員の仕事は利用者が仕事

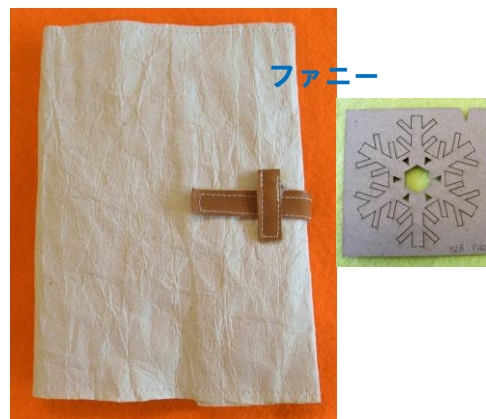
できる環境づくりです。」という発言から始まりました。吉清氏「利用者が作業する前から無理と決めつけてはいないか、利用者がどのくらい製作に携わっているのか…利用者のやる気に合わせ、飽きないような環境づくりをすれば、彼らは充実感を持って取り組むことができるのでは…」 「あれは難しい、これはできないではなくて、各事業所の得意なことを事業所間で分担できる作業関係にすればより良い物ができるのでは…」等々。具体的な助言として、「プレゼントではラッピングが価値を高めるが、買った人が使うのなら包装は簡単でよいのでは…」 「曲げたり動いたりするところに接着剤だけを使ってはダメ…」 「これはマネークリップにした方が外国人受けする商品になるのでは…」等々。最初の構えは徐々になくなり、気軽に意見を交わす場になってきました。次回が楽しみです。

第2回（11/30）は、【セルフヘルプ宝町】のうまく改良できなかった意見から始まりました。マネークリップ、畳の縁の幅では一万円札が入らない…吉清氏「素材から何ができるかを考えるのも大切」「地頭力（答えのない問題を解いていく力）を最大限に使うことが何よりも大切」。マスクを持ってきた【りらくす】、子どもは柄が自分の印、介護関係者には好評…、人のしない柄のマスクがあってもいいよね、吉清氏からの質問「利用者はどのくらいかかわっているの」、流れ図を描いて説明、布の購入だけが職員で他はすべてかかわっているとのこと、給食用とか効能をかいたパッケージにしては…。袋の中に説明文の紙を入れるだけではそれが動いてしまう…吉清氏「1枚の紙を折り、中に商品を挟んで袋詰めすれば動かないだけでなく、そこへ商品名などを書くことができる。帯にしてもよいが」…それに反応したように【おりづる作業所】から5色のポチ袋の束を帯で綴じた製品が出されました。【ファニー】の落書きのできる紙すき製のブックカバー、袋に入れては描けるかどうかかわからない…直接タッチできる方がいい…それマネークリップに使ったら、感触もいいし…吉清氏「遊び心も大切、洒落で面白グッズにするのもよい」、「商品ばかりに目が行き過ぎるとだめ、職員がいなくなったらその商品は作れなくなる。利用者がし



「しっかり作れば商品は続く。」…利用者さんの中には感受性の高い人もリーダーになれる人もいるよね…。【Cross Road】は“すまいるスタジオ”に行ってお土産を作ってきました…即行動！【セルフヘルプ宝町】の、遊び心で作った小さな座布団ストラップ、コースターにならないかな、底の工夫が必要…等々、面白い展開になってきました。第3回の最終回にどんな商品になるのか…。

最終回（1/13）、まずは完成商品から紹介します。【おりづる作業所】は、説明文を入れたもう1品を作ってきましたが、裏に事業所名・住所を印刷している帯の方が良いとの意見。【りらくす】のマスクは、袋のようにして商品名などを入れました。【Cross Road】のイヤリングは、折鶴再生紙を背景にタグをつけました。透明の袋に入れていましたが、吉清氏の助言「小さな箱に入れて透明のカバーをしては」…吉清氏から折鶴再生紙背景のストラップの飾り方が示されました。【ファニー】はブックカバーにロゴマークをつけようと考えたそうですが、別に、他の事業所からレーザーカッターを借りてクリスマスツリーの飾りつけにならないかなと新しいアイデアを披露しました…吉清氏「きれいにカットできるなら、立体的なペーパークラフトが作れるのでは…」。【セルフヘルプ宝町】は最初とは違う製品を作ってきました。畳の縁を袋状に縫い合わせて、酒ビンの入れ物にしてみました。子供の剣道の先生に竹刀袋を作ってプレゼントしたところ非常に喜ばれたとのこと、太鼓のばち入れ、そばを延ばす棒を入れる袋にもなる…高評価、商品になることでしょう。吉清氏「利用者にカルテのようなものを作って、何とはなく違うよね、ではなく、ここがこのように変わったと、作業を通して変化をとらえていくことが大切」「そこへ行けば買える商品づくりが必要」「人の欲しがるのをまずは作って、後はシリーズにしてもよいのでは」等々の助言、参加者はこれらの意味を初回よりはより深く理解されたのではないのでしょうか。



吉清 有三 氏からのコメント

今迄とは少し違った勉強会でした。幾度か係わっては来ましたが、一つの方向性が見えてきたかと思えます。その一つ、支援をするスタッフの皆さんの意識が、商品にあるのか、利用者にあるのかを見極めることでした。そして利用者を職人に育てる為には、クオリティーの高い商品を目指して妥協の無い「もの作り」をすることが、もう一つの大きな目標だと思います。それぞれの作業所の得意な事を持ち寄って、意見を出し合うことが出来た勉強会でした。

社会福祉法人 あさみなみに

くれよんマーケットがOPENしました!!!



2016年11月9日、社会福祉法人あさみなみ（☎875-8801）の1階に、『くれよんマーケット』が無事にオープンすることが出来ました。

この『くれよんマーケット』という名称には、メンバーさんの様々な思いが込められています。

くれよんイコール十人十色・・・みんな同じ色に染まらなくてもいい・・・みんな違ってみんないいんだ・・・、という意味があります。そして、仲間たち（利用者）が、自ら作った品物を自分たちで販売し、地域の方たちとつながりたい！この“あさみなみ”を多くの人に知ってもらいたい！という思いが形となったお店です。開店してから3ヶ月が経とうとしています。

お店には、保護者の方はもちろん、『チラシを見てきました〜』『通りがかって気になったので来ました』と言って来てくださる地域の方もたくさんいらっしゃいます。最近では小さなお子様連れのお母さんたちのご利用も多いように感じます。また、月ごとにイベントも行っています。昨年12月には、職員とメンバーがサンタクロースの格好をしてお客さんをお迎えしました。仲間たちはもちろん、職員も一緒になってノリノリでイベントを楽しんでいます（笑）。どうすれば、たくさんのお客さんに来ていただけるのか・・・、楽しんでもらえるか・・・、いろいろ試行錯誤しながら頑張っております。



販売をする仲間たちは、初めは照れてなかなか言えなかった『いらっしゃいませ』が、今では笑顔で元気よく『いらっしゃいませ』『ありがとうございました』『また来て下さいね』と言えるようになりました。私も販売をやってみたい！という仲間も増えています。自分たちが頑張って



作った物がたくさんのお客様に知ってもらうことで、やりがいや達成感を感じているように思います。今後もたくさんの人たちに足を運んでもらえるよう、そして、みんなが笑顔で安心できる場所を目指して楽しくやっといこうと思っておりますので、ぜひお近くにお越しいただいた際はのぞいてみて下さい!! 仲間たちが笑顔でお待ちしております!!

あさ作業所 山根 阿子

2016 セルフフェア

昨年12月1日～13日に、「ひろしま夢ぷらざ」(中区本通り8-28)で、恒例の「セルフフェア」が開催されました。委託販売と対面販売に29事業所が参加し、そのうち18事業所が朝9:00から17:00まで、本通りに面した店頭で対面販売を行いました。恒例の干支の工芸品をはじめ、クリスマスリース、食品(クッキー、ケーキ、和菓子、ジャム等)、紙製品、縫製品など、様々な種類の商品が販売され、商品が不足し始めると事業所から派遣されたスタッフが各々の事業所へ追加注文を行いました。今年は、マスコミなどで多く取り上げられ、売り上げが上がることを期待していましたが、残念ながら昨年を超えることができませんでした。来年は、売り上げが伸びるようにあれこれ工夫していきたいと思っています。



広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

2月、3月の出店販売日は下記のとおり、販売時間は12:00～13:00です。3月28日が今年度最後の出店になります。この1年、ご購入していただいた皆様に感謝します。次年度は、5月から販売を開始しますので、引き続きお越しをお待ちしております。よろしくお祈りいたします。

広島市役所 1 階ロビー (東側)

出店販売日	事業所 (1)	事業所 (2)	事業所 (3)	
2月	7日	未来館	広島どんぐり作業所	つくしんぼ作業所
	14日	広島皆賀園	みのり作業所	安芸の郷
	21日	SOARきつつき	スーリール	アイサンサン作業所
	28日	広島どんぐり作業所	おりづる作業所	元気工房やる気まんまん
3月	7日	未来館	広島どんぐり作業所	みのり作業所
	14日	広島皆賀園	アイラブ作業所	なないろ作業所
	21日	つくしんぼ作業所	もみじ福祉会	アイサンサン作業
	28日	SOARきつつき	元気工房やる気まんまん	ワークハウススマイル

出店販売日	安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階	
2月	7日	お菓子工房エール	憩
	14日	つくし工房可部	亀崎夢ひろば
	21日	可部つちくれの家	お菓子工房エール
	28日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家
3月	7日	お菓子工房エール	つくし工房可部
	14日	つくし工房可部	亀崎夢ひろば
	21日	憩	お菓子工房エール
	28日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家

記事にする話題、情報がありましたらお知らせください。